



清明小学校 学校だより

# みどりの風

清く明るく豊かな心を持ち進んで学ぶ子

春休み前特別号  
令和6年3月21日  
清瀬市立清明小学校  
校長 渋谷 正芳  
児童数配布

感謝 そして 新たな出発への春休みに！

校長 渋谷 正芳



「皆が笑顔になれる わが学校」を目指し、全教職員と全児童で取り組んできました。そして本日、3月21日修了式。413名の児童が小学校それぞれの学年を修了しました。1年前の自分と比べ、「これができるようになった。」「難しいことにもチャレンジすることができた。」と笑顔で話していました。1年生は、生活科単元「もうすぐ2年生 ～できるようになったよ～」で発表会をしました。自分の成長した様子を振り返るとともに友達の成長をたたえ、お互いに喜び合っていました。他の学年の児童一人一人も「〇〇ができるようになった。」

「〇〇に挑戦することができた。」と自分の殻をまた一つ破った「挑戦と成長」の1年間だったと確信しています。そして明日、3月22日は清明小学校第22回卒業式。74名の6年生が小学校の課程を修了し、本校を卒業していきます。

谷川俊太郎さんの詩「卒業証書」の最後に「卒業証書の望遠鏡でのぞく きみの未来」とあります。

清明小学校の子供たちの未来は、どのような未来なのでしょう。自由に思い描けるすてきな未来・夢。

ぜひ、未来を大切に、決してあきらめず、常に夢を持ち続けて歩み続けてほしいものです。人は誰にでも無限の可能性をもっています。その可能性を引き出し、夢を実現するのに大切なことは努力することです。努力は地味で、努力

したことがなかなか結果として現れないこともあります。でも、努力したことは絶対に無駄になりません。

新しい環境でも自分の力を信じ、努力し続け、自分を磨き続けてください。

「卒業証書」  
谷川俊太郎

ひろげたままじや持ちにくいから  
きみはそれをまるめてしまふ  
まるめただけじゃつまらないから  
きみはそれをのぞいてみる  
小さな丸い穴のむこう  
笑っているいじめっ子  
知らんかおの女の子  
光っている先生のはげ頭  
まわっている春の太陽  
そしてそれらのもっとむこう  
星雲のようにこんとんととして  
しかもまぶしいもの  
教科書にはけっしてのっていない  
蛍の光で照らしても  
窓の雪ですかしてみても  
正体をあらわさない  
そのくせきみをどこまでも  
いざなうもの  
卒業証書の望遠鏡でのぞく  
きみの未来

## ◇令和5年度を終えて◇

3学期の「あゆみ」をもとに、お子さんの3学期の頑張りをたくさんほめてください。課題については、一緒に解決の方法を話し合っただければと思います。

運動会、展覧会、6年生を送る会等、様々な学校行事が全校揃って行うことができました。また、保護者の会や地域の方による行事、子供まつりや冬のイベント等の行事も盛大に行うことができました。子供たちも思い出がたくさんできた1年であったかと思えます。あらためて、保護者や地域の皆様の御支援と御協力があったのことに感謝申し上げます。来年度も御協力のほどよろしくお願いいたします。

最後に、令和6年度のスタートである4月8日の始業式には、元気な姿で、すてきな笑顔の子供たちに会えることを楽しみにしています。御家庭でもお子さまの新年度スタートがスムーズにできるよう、御準備等よろしくお願いいたします。